

会 報

鳥 取

第 19 号

2008年 8月



米子がいな祭り (がいな万灯)

目次	就任の御挨拶	2~3	シルバー人材センター紹介	18
	平成20年度第1回通常総会	4~6	会員の広場	19~20
	平成20年度事業実施状況	7~12	講習会に参加して	21~22
	SP地域事業実施計画	13	最低貸金法の改正について	23
	健康シリーズ	14~15	ねんきん特別便について	24
	趣味のひとつ	16	表紙の言葉	25
	記念事業	17		

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

就任ごあいさつ



鳥取労働局長

佐々木 秀

七月一日付けで鳥取労働局長を拝命いたしました。高齢者の就業対策の推進につきましては、日頃より(社)鳥取県シルバー人材センター連合会、各センター及び会員の皆様に格別のご理解とご協力を賜り、紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、我が国は平均寿命の大幅な伸びと出生率の低下により世界の先進諸国が経験していない早さで高齢化が進んでおり、また、「団塊世代」と呼ばれる方々が定年を迎えております。鳥取県におきましても、平成十九年十月一日現在で高齢化率が過去最高の二五・一％になるなど高齢化が進んでおり、労働人口の減少が危ぶまれる中で高齢者の方が長年にわたって培ってきた知識や経験を活かし、社会の支え手として活躍していただくことが大きく期待されているところ
です。

こうした中、シルバー人材センター事業は、定年退職後に臨時的か

つ短期的又は軽易な就業を希望する高齢者の方に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供し就業機会の増大を図り、活力ある地域社会づくりに貢献することを目指しております。

平成十九年十月には「一般労働者派遣事業」の届出をされるなど、シルバー人材センターが、地域の就労希望者の様々なニーズに応えられる「総合的就労支援センター」としての役割を果たし、鳥取県のシルバー人材センター事業が着実に拡大、発展していることは皆様の日頃からの熱意とご努力の賜と、あらためて敬意を表する次第です。

労働局といたしましても、シルバー人材センター事業の重要性を十分認識し、県・市町村との連携のもとに、シルバー人材センター事業を引き続き積極的に推進する所存ですので、今後とも一層のご理解、ご協力のほどよろしく願います。

最後に、シルバー人材センター事業の益々のご発展と役職員並びに会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして就任の挨拶とさせていただきます。



シルバー人材センター に求められるもの



鳥取県商工労働部経済・雇用政策総室
労働政策チーム長

小谷 修

平成二十年四月一日付けで労働政策チーム長に就任いたしました。

労働政策チームは、商工労働部の組織改編により、旧労働雇用課の業務のうち、高齢者の就業支援のほか、職業能力開発、技能振興、労働者福祉などの労働施策を所管することになりました。よろしくお願います。

近年、急速に進む少子高齢化の下、高齢者の就業を促進するため、企業に対して定年延長などの措置が義務付けられており、先日決定された政府の「社会保障の機能強化のための緊急対策」には、六十五歳以上の希望者全員を継続雇用する企業への支援の創設などが盛り込まれています。

このことは、高齢者の経験・技能への期待の高まりである反面、シルバー人材センターにとっては、会員数の減少の一因ともなりかねず、

市町村合併による広域化、指定管理者制度の導入、さらには県内経済の景気低迷などとあいまって、シルバー人材センターを取り巻く環境は厳しさを増していると感じております。

シルバー人材センターには、個々の会員と仕事を発注する方々との双方の要望を満たすことが求められています。これを厳しい状況の中で充実させるためには、業務の進め方を見直し、双方の異なる要望をより一層満足させるシステムを構築して行くことが求められていると思います。例えば、会員の満足度を上げるためには、就業機会の増加を図ることが考えられますが、それを実現しようとするれば、受注業務を増加しなければなりません。そのための方策の一つとして、発注者の個々のニーズに的確に 대응して、顧客満足度を上げ、リピータとなってもらい、さらには、知人への紹介につなげることが考えられます。そのためにも、何をしなければいけないかを常に考え、実行に移していくことが求められます。

県としましては、高齢者の就業促進や生きがいづくりなどを図るため、各種の労働施策を通じて皆様の活動の支援を行っていきたく考えておりますので、会員の皆様の一層の御理解と御協力をお願いいたします。

末筆ではございますが、貴連合会及び会員の皆様の御発展と御活躍を祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

平成二十年度第一回通常総会開催



平成二十年度第一回通常総会は六月十二日(木) 米子市において会員の代表及び来賓のご出席を賜り開催されました。

宇野連合会会長の挨拶にはじまり、来賓の代表として鳥取労働局 橋本職業安定部長から祝辞をいただきました。

議長に(社)倉吉市シルバー人材センター野島理事長が選出され議事が進められました。

議案

- 第一号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成十九年度事業報告(案)及び収支決算報告(案)について
- 第二号議案 社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十年度収支補正予算書(案)について
- 第三号議案 連合会理事の辞任に伴う補欠選任について

第三号議案の役員の新選任につきましては、足立理事「(社)境港市シルバー人材センター理事長」・石谷理事「(社)智頭町シルバー人材センター理事長」・村田理事「八頭町シルバー人材センター理事長」の辞任に伴い、新しい理事として西村岩市氏「(社)境港市シルバー人材センター理事長」・小林實夫氏「(社)智頭町シルバー人材センター理事長」・山浦基治氏「日南町シルバー人材センター理事長」が選任されました。

◎第五期役員名簿

役職	氏名	所屬
会長	宇野 治巳	(社)米子広域シルバー人材センター 理事長
副会長	木島 敏行	(社)鳥取市シルバー人材センター 理事長
副会長	野島 完	(社)倉吉市シルバー人材センター 理事長
常務理事	仲村 一男	(社)鳥取県シルバー人材センター連合会 事務局 長
理事	西村 岩市	(社)境港市シルバー人材センター 理事長
理事	田子 貢	(社)南部広域シルバー人材センター 理事長
理事	小林 實夫	(社)智頭町シルバー人材センター 理事長
理事	足立 慎夫	(社)琴浦町シルバー人材センター 理事長
理事	山浦 基治	日南町シルバー人材センター 理事長
理事	有田 勝徳	鳥取県中小企業団体中央会 専務理事
監事	谷口 幹彦	(社)岩美町シルバー人材センター 理事長
監事	林原 彦一	(社)大山町シルバー人材センター 理事長

平成二十年度 事業計画書

基本計画

鳥取県においては、人口が六十万人を割る等少子高齢化を伴う人口減少社会が進み、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが求められており、シルバー人材センターの果たすべき役割は一層重要となつてきている。活力ある経済社会を維持・発展させていくためには、高齢者が長年にわたり培ってきた豊かな知識と経験及び技能を積極的に生かし、働くこと或いはボランティア活動等の社会参加をすることにより、健康で生き甲斐が感じられる社会の実現を目指すことが重要な課題である。

本年は、団塊の世代の現役退職突入から二年目となるが、六十五歳までの継続雇用措置も浸透する中で、これから次第に多くの高齢者の退職が想定されるところであり、一層、シルバー人材センターの多様な就業分野の拡大を図る必要があると考えられる。

現在、シルバー事業を取り巻く環境は、国及び地方公共団体においては行財政改革が加速化され、補助事業の見直しや競争原理の導入が図られる等、シルバー事業を取り巻く環境は一層厳しさを増してきている。このため再チャレンジ支援総合プランに基づく「鳥取

県シルバー人材センター事業活性化計画」に掲げた会員及び就業機会の拡大等の総合対策の推進を図ることとする。

また、平成十九年度からシルバー派遣事業を開始したところであるが、実施事務所の拡大とともに、積極的な派遣事業の活用による多様な就業機会の拡大と、適正就業の徹底の推進を図っていくこととする。

以上のことをふまえ、鳥取県シルバー連合は活動拠点と一体となり、次の実施計画により、シルバー事業活性化・発展に向けて取り組むこととする。

事業実施計画

一 安全・適正就業推進事業

- シルバー事業の基本である安全・適正就業を推進するため次の事業を実施する。
- (一) 安全・適正就業推進委員会の開催
- (二) 安全パトロール担当者会議の開催
- (三) 安全就業研修会の開催
- (四) 安全パトロール指導員による巡回指導

二 連合設立十周年記念式典の開催及び記念誌の発行

三 普及啓発事業

- (一) 連合会機関誌の発行（年一回）
- (二) シルバー事業普及啓発促進月間（十月）の行事
- (三) ポスター、各種普及啓発用リーフレットの作成・配布

四 就業開拓事業

- (一) ホームページの充実
- (二) 就業機会開発推進委員会の開催
- (三) 就業開拓推進員の配置
- (四) ホワイトカラー就業機会開発員の配置

五 交流研修事業

- (一) 鳥取県シルバー経験交流大会（連合設立十周年記念式典と併開）
- (二) 連合役職員研修

六 シルバー労働者派遣事業

- (一) シルバー派遣事業の推進
- (二) 派遣業務の円滑な推進を図るため、実務を中心とした研修会を開催すること。

七 福祉・家事援助サービス

- (一) 研修会の開催
- (二) 普及啓発

八 指導相談事業

九 鳥取県シルバー人材センター事業推進連絡会議の開催

十 シルバー人材センター事業活性化計画の推進

十一 シニア活動力活用事業 実施センター

- (社)鳥取市シルバー人材センター（ワー
- クシヨップ事業・マッチング事業）

十二 企画提案方式事業 実施センター

- (社)鳥取市シルバー人材センター
- (単独型複合分野く介護・子育て)
- (社)米子広域シルバー人材センター

(単独型複合分野)介護・子育て
 (社)倉吉市シルバー人材センター
 (単独型単独分野)介護 (単独型単独
 分野)子育て)

十三 シニアワークプログラム地域事業

- (一) 啓発事業
- (二) 総合的雇用就業情報提供事業
- (三) 技能講習事業

- ① 長期講習・十七会場で実施 (別表)
- ② 短期講習・十会場で実施 (別表)

- (四) 職場体験講習事業

- (五) 職業紹介事業

十四 諸会議の開催

総会・理事会・事務局長会議及び関係行政機関等との連絡会議を実施



別表 (平成二十年度シニアワークプログラム地域事業実施計画)

◎長期講習名

開催場所

経理事務補助講習	鳥取市・米子市
事務補助講習	倉吉市・境港市
造園アシスタント講習	鳥取市 (二回)
オフィスクリーニング補助講習	米子市
訪問介護員養成研修二級講習	鳥取市・米子市・倉吉市・境港市
社会保険労務士補助講習	鳥取市・米子市・倉吉市
フォークリフト運転技能講習	米子市
保育・子育て支援講習	境港市
緑地管理アシスタント講習	倉吉市

◎短期講習名

開催場所

室内装飾アシスタント講習	鳥取市・倉吉市・北栄町
造園アシスタント講習	智頭町
農業支援講習	南部広域
警備業務補助講習	鳥取市・米子広域
子育て支援講習	米子広域・倉吉市
緑地管理アシスタント講習	岩美町

**平成二十年度
事業実施状況**

第一回通常理事会

五月三十日（金）米子市において開催。



議案

第一号議案 （社）鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十年度事業報告（案）及び収支決算報告（案）について（監査報告）

第二号議案 （社）鳥取県シルバー人材センター連合会平成二十年度収支補正予算書（案）について

報告事項 連合会理事の辞任に伴う役員候補者選考委員会の開催について

議案は、いずれも原案どおり承認されました。

安全適正就業推進委員会

六月二十四日（火）倉吉市で開催。

議題

(一) 平成二十年度安全・適正就業推進事業実施計画について

(二) 平成十九年度 事故発生状況について

(三) 平成十九年度各センターの安全・適正就業取り組み状況について

(四) 平成十九年度安全・適正就業パトロール及び講習会等実施状況について

(五) その他

就業機会開発推進委員会

七月十一日（金）倉吉市で開催。

議題

(一) 平成二十年度就業機会開発推進事業実施計画について

(二) 平成十九年度連合・各センター就業機会開発実施状況について

(三) 事業「企画提案方式事業」の推進について

(四) 適正就業の推進について

ア シルバー派遣事業の推進
イ 民営圧迫でない仕事とは

**平成二十年度
安全・適正就業研修会**

安全・適正就業強化月間の一環として二十年七月十八日（金）倉吉市において、各シルバー人材センターの役員、会員等九十五名の参加のもと、平成二十年度安全・適正就業研修会を開催しました。

宇野連合会会長の挨拶に続き、会員及び役員から募集した「シルバー人材センター事業安全就業標語の入選者の発表及び表彰式が行われました。

基調講演は、（社）倉吉市シルバー人材センター前事務局長中林正樹氏により「まず経験を踏まえた「安全就業を目指して」と題して、安全は、「備え」と日頃からの「意識づけ」に取り組む心構えの講演がありました。

又、(社)境港市シルバー人材センター理事・安全管理委員会委員長 渡部泰幸氏の「安全就業の取り組みについて」と、(社)米子広域シルバー人材センター事務局長 吉田浩一氏の「適正就業の取り組みについて」の事例発表が行われました。



参加されました皆さんが、「安全に仕事をするための、取り組み及び安全管理の今後の課題」、「労働者派遣事業と請負により行われる事業の区分に関する基準」等について、どうすべきか等々真剣に考え、学ぶ有意義な研修会となりました。

安全就業標語の表彰作品

「優秀作品」

ちよっと待て 自信過剰が 事故招く

堀 和子

(社)倉吉市シルバー人材センター

「入選作品」

安全は 他人に頼らず 自己管理

松原 繁

(社)鳥取市シルバー人材センター

無理をせず ゆとりを持って 安全確保

松本 ひとみ

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

ゆるめません 心のブレーキ 帰宅まで

瀬尾 勝弘

(社)倉吉市シルバー人材センター

安全作業 自信と過信は 紙一重

小原 萬伎子

(社)倉吉市シルバー人材センター

安全就業 事前の点検 身を守る

国政 信男

(社)智頭町シルバー人材センター

「佳作作品」

おはようの 笑顔の挨拶 安全就業

生田 清徳

(社)南部広域シルバー人材センター

過信は禁物 思わぬところに 落とし穴

岩垣 保子

(社)北栄町シルバー人材センター

確認は いくらやっても おわりなし

田中 弘一

(社)境港市シルバー人材センター



この高さ ヘルメットいらぬ心 けがのもと

坪倉 正明

(社)大山町シルバー人材センター

一瞬の油断許さぬ 安全就業

谷口 博美

(社)鳥取市シルバー人材センター

安全就業優秀団体に

(社)倉吉市シルバー人材センター

(社)全国シルバー人材センター事業協会の平成二十年度安全就業優秀団体として、(社)倉吉市シルバー人材センターが県内では初めて最高の栄誉に選ばれ六月二十六日に東京で開催された定期総会において表彰されました。



なお、鳥取県内で過去に優良団体として南部広域SC(平成十四年度)倉吉市SC(平成二年度)が受賞しています。(写真は表彰を受ける倉吉市SC野島理事長)



平成十九年度 下期事業実施状況

第二回通常理事会

平成二十年三月十八日（火）鳥取市において平成十九年度第二回通常理事会が開催されました。

審議された次の議案はいずれも原案のとおり承認されました。

議案

第一号議案 平成十九年度収支補正予算書

(案) について

第二号議案 平成二十年度事業計画 (案)

について

第三号議案 職員給与規程の一部改訂 (案)

について

第四号議案 職員退職手当規程の一部改訂

(案) について

第五号議案 平成二十年度収支予算書 (案)

について

説明・報告事項について

・平成十九年度都道府県連合会会長会議の概要について

・鳥取県シルバー連合保険制度検討委員会のまとめについて

・特定公益増進法人への認定申請について

・シルバー派遣事業の事業実績について

・公益法人制度改革による公益社団法人への移行について

・平成二十年度連合会業務執行体制について

・平成十九年度事業実施状況報告について

・平成二十年度SP事業実施状況報告について

・平成二十年度SP事業実施計画一覧表

業実績

第二回通常総会

平成二十年三月二十七日（木）鳥取市において平成十九年度第二回通常総会が開催されました。

総会は宇野連合会会長の挨拶に続いて、議長に（社）鳥取市シルバー人材センター理事長木島敏行氏を選出し、次の議案について審議が行われ、いずれも原案のとおり可決承認されました。

議案

第一号議案 平成十九年度収支補正予算書

(案) について

第二号議案 平成二十年度事業計画 (案)

について

第三号議案 職員給与規程の一部改訂 (案)

について

第四号議案 職員退職手当規程の一部改訂

(案) について

第五号議案 平成二十年度収支予算書 (案) について

説明・報告事項について

・平成十九年度都道府県連合会会長会議の概要について

・鳥取県シルバー連合保険制度検討委員会のまとめについて

・特定公益増進法人への認定申請について

・シルバー派遣事業の事業実績について

・公益法人制度改革による公益社団法人への移行について

・平成二十年度連合会業務執行体制について

・平成十九年度事業実施状況報告について

・平成二十年度SP事業実施状況報告について

・平成二十年度SP事業実施計画一覧表

業実績



経験交流大会開催

平成二十年一月十八日(金) 午前十時三十分から倉吉市において、経験交流大会を開催しました。



大会は、県内シルバー人材センターの役員・会員・市町村の担当者の方々百十三名の参加のもと、宇野連合会会長の挨拶のあと、来賓の倉吉市の長谷川市長、鳥取労働局橋本職業安定部長、鳥取県商工労働部中山次長より祝辞を賜りました。

基調講演には(財)日本中小企業福祉事業財団東京事務所理事所長佐藤仁彦氏をお迎えし、「シルバー事業の先導を期待する」と題して講演をいただくなど盛大に開催することができました。

また、アトラクションとして、鳥取市シルバー人材センター会員有志による『舞踊・民謡シヨウ』が披露されました。



午後には、県内、三センターから次の事例発表をいただきました。

- ・「会員組織の活性化と就業機会等の拡大について」
(社)米子広域シルバー人材センター
事務局長 吉田 浩一氏
 - ・「介護移送サービスの現状と今後の課題について」
(社)智頭町シルバー人材センター
事務局長 西尾 仁氏
 - ・「独自事業の取り組みについて」
(社)北栄町シルバー人材センター
事務局長 岩 垣 毅氏
- 又、「今後の適正就業に向けて」の講話を(社)米子広域シルバー人材センター理事長宇野治巳氏よりいただきました。
- 引き続き、事例発表者を助言者に迎えて質疑応答・意見交換が行われ、盛会のうちに閉会しました。



第三回鳥取県シルバー人材センター事務局長会議開催

平成二十年二月四日（月）米子市で開催。
議題

- (一) 平成十九年度第三回都道府県連合事務局長会議について
- (二) 平成十九年度事業計画の実施状況について
- (三) 鳥取労働局高齢者対策担当官説明
- (四) その他



無料職業紹介・派遣事業担当者会議

平成二十年二月十九日（火）倉吉市において開催。

(一) 平成十八年度無料職業紹介事業実施状況について

- (二) 平成十九年度各センター無料職業紹介・派遣事業の取り組みについて
- (三) 無料職業紹介・派遣事業業務の推進について



福祉・家事援助サービス事業推進担当者研修会

平成二十年一月二十九日（火）倉吉市において各シルバー人材センターの役員等の参加のもと、福祉・家事援助サービス事業研修会を開催した。

基調講演は、(社)浅口市シルバー人材センター主任井上由久氏により『子育て支援事業の推進について』と題した講演があり、又、(社)鳥取市シルバー人材センター福祉・家事コーディネイター岸光葉氏の『福祉・家事援助の現状について』の事例発表が行われました。続きまして、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会村事務局長より企画提案方式事業の説明が行われた。
講演、発表等について活発な意見交換が行われた。



平成20年度シニアワークショッププログラム地域事業実施計画

シニアワークショッププログラム地域事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が活動拠点の協力のもと、多種多様な技能講習を事業主団体と連携をはかりながら実施する事業です。講習の種類は、長期講習(40時間を超える講習)と短期講習(20時間を超え40時間迄)の2種類となります。

平成20年度は、長期講習17回(介護講習4回含む)、短期講習10回を計画し、順次実施しております。

1. 長期講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
経理事務補助	米子会場	5月27日～6月6日	9日	22名	22名	19名
事務補助	倉吉会場	6月2日～6月27日	9日	20名	22名	16名
経理事務補助	鳥取会場	6月10日～6月20日	9日	22名	25名	25名
造園アシスタントⅠ	鳥取会場	6月25日～7月4日	8日	20名	26名	26名
フォークリフト運転技能	米子会場	7月14日～7月24日	8日	20名	14名	14名
保育・子育て支援	境港会場	7月15日～7月25日	8日	20名	12名	12名
事務補助	境港会場	8月26日～9月5日	9日	20名		
緑地管理アシスタント	倉吉会場	9月1日～9月10日	8日	25名		
社会保険労務士補助	鳥取会場	9月3日～9月12日	8日	20名		
社会保険労務士補助	米子会場	9月24日～10月3日	8日	20名		
社会保険労務士補助	倉吉会場	11月4日～11月13日	8日	20名		
オフィスクリーニング補助	米子会場	11月5日～11月14日	8日	20名		
造園アシスタントⅡ	鳥取会場	11月10日～11月20日	9日	22名		
介護講習(2級課程)						
訪問介護員養成研修	米子会場	6月26日～8月6日	23日	20名	15名	10名
訪問介護員養成研修	倉吉会場	8月20日～10月2日	23日	20名		
訪問介護員養成研修	鳥取会場	10月6日～11月17日	23日	20名		
訪問介護員養成研修	境港会場	10月15日～11月26日	23日	20名		
長期計		長期講習17回		351名		

2. 短期講習

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
緑地管理アシスタント	岩美会場	7月1日～7月7日	6日	20名	20名	20名
造園アシスタント	智頭会場	9月 日～ 月 日	5日	20名		
子育て支援講習	米子会場	8月25日～8月29日	5日	15名		
警備業務補助	鳥取会場	9月25日～10月2日	6日	15名		
警備業務補助	米子会場	10月23日～10月30日	6日	15名		
子育て支援	倉吉会場	12月1日～12月8日	5日	15名		
農業支援	南部会場	1月26日～1月30日	5日	15名		
室内装飾アシスタント	北栄会場	1月26日～1月30日	5日	15名		
室内装飾アシスタント	倉吉会場	2月2日～2月7日	5日	15名		
室内装飾アシスタント	鳥取会場	2月16日～2月20日	5日	20名		
短期計		短期講習10回		165名		
総合計		長期講習+短期講習		516名		



頻尿、尿失禁で困っていませんか



山陰労災病院
泌尿器科部長

渡部 信之

おしっこが近い、漏れてしまうという方の中には、年をとったので仕方がないと考えておられる方も少なからずいらっしゃると思います。ところが、頻尿、尿失禁の大部分は治療によって治癒、あるいは改善するので、そこで、頻尿、尿失禁の種類と治療について述べてみたいと思います。

「過活動膀胱」……間に合わない!!!

突然に起こる強い尿意のため頻尿となった尿が漏れたりする状態（切迫性尿失禁）であり、水道やトイレで水の流れる音を聞くと急に尿意をもよおすような方はこれにあたります。日本では40歳以上の人の12.4%、約840万人がこの状態と言われております。ちなみに70歳代では20〜30%、80歳代では40%近くの方が過活動膀胱と考えられています。

過活動膀胱の治療には頻尿治療剤の内服がとて有効であり、大量の尿失禁があった方も含めて、ほとんどの方の頻尿、尿失禁が消失あるいは軽減します。頻尿治療剤は内服を中断すれば効果はなくなりますので、長期にわたり内服する必要がありますが、症状の軽い方では必要におおじて（旅行、行事などの際）内服することも可能です。過活動膀胱の中には脳梗塞、脳出血、パーキンソン病、脊髄損傷など、脳から膀胱へ至る神経の異常のためにおこる神経因性のもも含まれますが、脳疾患に基づく過活動膀胱の場合にも頻尿治療剤が有効です。

過活動膀胱には膀胱炎や結石、時には腫瘍などによる刺激によって起こる場合もあります。また、頻尿治療剤は膀胱の収縮力を低下させると考えられ、残尿のある場合には、さらに残尿が増加したり、まったく尿が出なくなったりすることもありますので、尿検査に異常がある場合や残尿のある場合には、まず原因となっている疾患の治療を行う必要があります。

「腹圧性尿失禁」……咳やくしゃみで漏れる!!!

咳やくしゃみの出たとき、急に立ち上がった重いものを持ち上げたりしたときなど、お腹に力を入れたときに尿が漏れる状態です。

一般に、寝ているときには、お腹に力が入ることはないため、昼間中心の頻尿、尿失禁となります。ほとんどは女性で、尿道括約筋を含む骨盤底筋群が弱くなったために起こると考えられます。子どもをたくさん産んだ方、肥満の方に多く、高齢になると増加します。たくさんの大規模なアンケート調査があります。成人女性での腹圧性尿失禁のある方は、はごくわずかなものまで含めると20%〜50%といわれています。

腹圧性尿失禁の治療薬としてはある種の抗うつ薬や気管支拡張剤を用います。これらの薬は尿道を閉める作用があり、腹圧性尿失禁に有効です。

過活動膀胱の際に用いる頻尿治療剤は基本的に有効ではないと考えられますが、腹圧性尿失禁と過活動膀胱の混合型の方もかなり多いことから、頻尿治療剤が用いられることもあります。薬では飲んでいながら効果がないうこともあり、症状が高度でなければ尿失禁に対する体操、尿道、肛門を閉める運動もオススメですが、体操により尿道や骨盤底筋の筋力を強化するには、少なくとも3ヶ月以上続け、症状軽減後も継続する必要があります。さらに症状が高度の方では手術（入院2〜7日程度）がオススメです。

手術までは希望しないが薬では不十分の方

にはコラーゲンという物質を尿道の周囲に注射して尿道抵抗を増し、尿失禁を抑える方法（外来または一泊入院）もあります。電気刺激もある程度有効と言われていますが近隣の施設ではほとんど行われていないようです。

「奇異性尿失禁」

膀胱内に大量の尿が溜まり、膀胱内の圧力が高まり溢れ出す状態。膀胱内の残尿が比較的少ない状態のときは、過活動膀胱と同様に強い尿意を我慢できずにおしっこが漏れてしまふ（切迫性尿失禁）状態となることも少なくありませんが、さらに残尿が大量となると気づかぬうちに頻繁に尿が漏れるようになります。前立腺肥大症、前立腺癌、尿道狭窄、尿道膀胱癌などの下部尿路の通過障害を起す疾患や脊髄損傷、骨盤腔の手術（直腸癌、子宮癌など）、糖尿病などの膀胱の収縮力が弱くなるような疾患の際にみられます。稀な病状ですが、放置すれば腎不全となり、生命に関わることもあります。

奇異性尿失禁の治療には、多くの場合、薬物療法は有効ではなく、前立腺肥大症などの下部尿路の通過障害では手術となります。前立腺肥大症では一般に経尿道的な内視鏡手術であり5～10日の入院が必要です。前立腺肥大症は高齢になってから起こる病気であることから、手術を受けられる方の平均年齢は75

歳程度であり、90歳を超えてから手術を受けられる方も時々あります。また、膀胱の収縮力が弱くなるような疾患では間歇自己導尿といって、毎日何度も自分で尿道から膀胱内まで専用の管（カテーテル）を入れて尿を出します。

この他にも、おしっこが近くなったり、漏れたり原因として以下のものもあります。

多尿による頻尿……正常な状態では、一回に出る尿の量は約200ml、一日の尿量は1200～1500ml、一日の排尿回数は6～8回です。高齢になると水分摂取量が少なくなり、脱水となったり、心筋梗塞や脳梗塞が起きやすい状態となるため、水分を多めに摂る事が奨められますが、水分摂取が多すぎると頻尿となります。「水は一日に何リットル飲んだらいいでしょうか」診察の際にもよく聞かれます。

しかし、一日にどれだけ水を飲んだら良いか、決まった量はないのです。

暑い日や激しい運動をして、たくさん汗をかいたときにはたくさん水分を摂る必要があります。寒い日には少しの水分でよいということになります。

そこで、水分摂取量が多いか少ないかを確かめたいときには、一日の尿の量を測ってみます。目安としては、一日の尿量が1000

mlより少なければ水分摂取が少なすぎ、2000mlより多ければ水分摂取が多すぎと考えられます。

夜間頻尿……一旦眠ってから、朝までに2回以上排尿する場合を夜間頻尿といいます。

原因は膀胱、尿道、前立腺など泌尿器科的なもの、不眠、多尿が三分の一ずつと言われていますが、二つ以上の原因があることも多く、原因にあった治療を行う必要があります。

おしっこが近い、漏れる」と言っても、いくつかの種類があることを述べましたが、ほとんどは、間に合わないタイプが咳やくしゃみで漏れるタイプのどちらかであり、その場合には薬などにより症状の消失あるいは改善が期待できます。症状の軽い方では、旅行などおしっこが漏れたり、近くなると困るときだけ薬を飲むことも出来ます。また、大部分の頻尿、尿失禁は本人が気にならなければ、必ずしも治療する必要はないと考えられますが、中には奇異性尿失禁のように放置すれば腎不全となったり、寿命も短くなることもありますので、お気軽にかかりつけの先生に相談して頂くか、泌尿器科で受診していただきたいと思います。

趣味のひょうき

版画と子供と私と



紺米子広域シルバー
人材センター

岡本茂巳

作品展の会場で「なぜ木版画を始めたの」「そのきっかけは」と聞かれることがあります。

この返事はとても難しく、なんとか意味つけてお話しできればと思うのですが、誰に教わるでなく見様見真似の素人版画を自認する私にとっては理論的に語ることもできないままに「ただ、なんとなく興味を惹かれて」とか「絵を描くのが好きで」と云うよりほかに答えようが無く、ついつい口ごもってしまいます。

今から20年ほど前、都内のあるデパートで版画教室のコーナーを覗いた折、絵から刷りまでの行程を見て、未知の面白さに惹かれたのは確かだったと思



ます。その意味では、私の木版画は単純な興味本位からのスタートであった気も致します。そして、これからも勝手気ままに絵を描き板を彫って過ごすことになる気がいたします。

ところで、「私の師匠」についてお話ししますと、それは「子供達」と云うことになりそうです。

今、私のところには数人の小学生が来ています。勉強にも息抜きが必要で、そんな時には、絵を描いたり童話をよんだり、話を聞いたりします。そんな時、私は「子どもと視線を同じにして」という心地よい言葉は捨てるようにしています。所詮子供達との習慣的距離は縮めようがありませんし、近づこうとすると却って無理が生じて、ぎくしゃくしてしまうことが多かったです。

子供たちの絵をそっくり真似て版画に仕上げてみたこともあります。ところが、出来上がったものは本物と似ても似つかわしくない大人の絵になってしまいました。それは、長年にわたって染みついた大人の汚れを見せつけられたような作品であり、心の表現を失った、ものものしい「物」でした。



「下手も絵のうち」という言葉があります。芸術的な絵はプロにお任せして、私はこれから子供達と一緒に冒険の旅に加わっていきたくて考えています。だって、人生80年を50歳プラス30歳という「団塊」といっ呼び名で区切ること自体おかしいので、80年を冒険時代と考えるのは自然なことでしょうか。

設立十周年記念式典

(社)智頭町シルバー人材センター

事務局長 西尾 仁

平成十年四月一日、町民の皆様の期待に大きく応えるべく、智頭町大互助会として「気軽に便利」「早く丁寧で安い」をモットーとして、登録会員百五十名で発足しました当シルバー人材センターですが、二年後には会員数も二百名を超え、新たに社団法人として生まれ変わりました。



石谷理事長のあいさつ

当シルバーセンターに対する期待は想像以上であり、会員及び役職員は懸命に対応し、現在では無くてはならない存在であると自負しております。さて、三月二十六日に通常総会終了後、設立十周年記念式典をささやかでありましたが「智頭町老人福祉センター」で行いました。来賓に、智頭町長織田洋氏、鳥取県シルバー人材センター事務局長仲村一男氏、智頭町社会福祉協議会会長西村好史

氏のご臨席を賜り、式典で石谷理事長(当時)は、「現在我が国は他に例を見ない高齢者社会となり、当智頭町においても今後更に超高齢者社会の到来が予想される中で、シルバー人材センターの果たす役割は益々重要となつてきており、十周年の節目を契機に先輩諸氏の築かれた「礎を更に強固なものにする為、一層の事業運営に努めて参る所存であります。」と挨拶しました。



ご来賓各位から丁寧なご祝辞をいただき、続いて、設立以来会員・役員として十年間、当センター事業に功績のあった六名のかたの表彰を行い、最後に記念講演として智頭病院院長濱崎尚文氏による「元氣な高齢者」を目標しての演題で高齢者に対する健康法などとても参考になるお話をいただき、式典を終えることが出来ました。この十年間、町民の皆様の温かいご支援はもとより、智頭町を始めとする関係行政機関のご協力・ご支援に改めて感謝すると共に、これからも益々のご協力・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。更なる十年、二十年を目指し会員、役職員一丸となりセンター

事業を盛り立てて行く所存であります。
※写真は「記念講演」を行う智頭病院院長 濱崎尚文氏

シルバー人材センターの紹介

日南町シルバー人材センター

事務局長 塩見克巳

日南町は、鳥取県の西南に位置し平成二十一年に町制五十周年を迎えます。

全国でもトップクラスの高齢化の進んだ過疎の町です。しかし、平成の大合併では、あえて合併の道を選ばず、生き残りをかけた単独の道を選びました。



しかし、「高齢化でまちづくり」を合言葉に、地味ではあるが次の世代にバトンタッチすべく、着実に努力しております。そんな中、平成十二年十一月、行政の指導と援助を受け、日南町シルバー人材センターが設立され、以来八年目を迎えておりますが、諸課題

を抱え厳しい運営状況にあります。

センターの現状と課題

過去、平成十六年をピークとして、会員数が百十数名になり、仕事も順調な伸びをしていたがそれ以後、会員の高齢化に伴い現在は、九十名を割っております。六十才台前半の、いわゆる団塊世代加入者が少なく、会員の増強に苦慮しております。

受注件数及び契約高は、横ばい状態ですが、年間を通じて受注に大変むらがあり、夏場の仕事と冬期間の仕事の量が大幅に違うことです。

しかし、公共的施設等の年間契約により、極端に落ち込むことはないが、就労会員が固定化する傾向にあります。年間を通じて全く就労しない会員が二割程度おり、就業率の低下に繋がっております。



過去、各種の講習会の開催をしてきましたが、会員の技術力アップ等にはなっておりませんが、それが直接就労に繋がっているとはいえません。

又、平成十九年度から、国のSP事業への対応も変わり、センターが行っていた第二種講習が出来なくなりました。

毎年の総会、新年の交流会には、会員が一同に集う機会がありますが、今後も、親睦を深め行政の援助を期待しながら、地域のニーズに就労して行くよう心がけて行きます。

会員の広場

企画提案 子育て支援事業 『子どもふれあいの里』 実施による苦労話

（紺米子広域シルバー人材センター）

小笹 暁美

昨年十一月頃だったと思うが米子広域シルバー人材センターでは事業拡大の一環として子育て支援事業に着手したいとの由、それを先ず加茂班で実施し、成功すれば順次拡大したいとの由、当班責任重大である。

即、役員会議に計り引受を決定、明年の四月開所にむけ行動開始先ずは会場の確保。幸いセンターの職員の方の持家が空いており、早速交渉の末、快諾を得て先ずは一安心。本番の子供さん方にかにして参加してもらおうか、たまたま私が加茂公民館で子供地域活動支援事業を担当している関係で、早速公民館長に相談、シルバー人材センター吉田事務局長同伴で加茂小学校、社会福祉協議会等に挨拶、子育て支援事業のチラシの配布の協力要請を行った。

その結果、小学校から二回にわたり子供さんを通じて各家庭に配布していただいたり、公民館からも広報紙（かもめ）に掲載していただき、応募を待つばかりとなった。

現在、小学校が実施している「なかよし学級」は放課後から十七時まで学校において子供さんを預かってくれているが、今年度の応募者は定員四十名に対して九十名の応募があったとのことで、倍以上の子供さんが仲良し学級に入れなかったため、当然シルバーの子育て支援事業に利用申込みがあるものと考えていたが、説明会に出席があったのはたった一名、電話の方が一名、申込書を取りに来た人が一名の計三名で、寂しい限りで六月時点での利用者は三名となった。

七・八月の夏休み特別対策では、十六名の申込者があったが、九月以降がどうなるか心配であります。

これからは、地区子供会とも話し合いながら協力を得て、今後の対策を立案して先ずは長い茨の道だと思うが、笑顔で迎えられる日が一日も早く来る様、全員で一丸となって頑張っていきたいと思っています。



吹屋を訪ねて

（舳米子広域シルバー人材センター）

川内野 節 允

以前から一度行って見たいと思っていた弁柄（ベンガラ）で有名な岡山県成羽町の吹屋を訪ねた。吹屋は国から「吹屋重要伝統的建造物群保存地区」に指定されており、「吹屋ふるさと村」の名で観光地になっている。

米子から根雨を抜け百八十号線を新見市を直指して走る途中の明智峠展望台で小休止、はるかに遠く大山と鳥取県側の大小様々な山が重なり、その谷間に漂う雲海は実にすばらしい眺めである。

県境のトンネルを抜け坂を下ると千屋温泉、千屋牛の産地である新見市の千屋をすぎ、高梁川を渡り川沿いに向かうゆるやかな山道を、二十分ほど走るとそこが「吹屋ふるさと村」である。

駐車場に車を止め、少し登った三叉路に立つと忽然と現れた時代劇のセットに迷い込んだような風景が広がっている。右に折れたなららかな坂道を下る。建物が遠い昔に戻ったような雰囲気でもいかも街全体が赤っぽい色、茜色とも言つのか空気まで染まって居るようである。

建物の中には江戸時代の頃からのものもあり主な建物にはそれぞれ丁寧な説明版が取り付けてあり、時代によって少しずつ建築様式

に違いがあるのも興味深く、その時代を生きた人々の姿と建物と重ねあわせて想像して見るのも楽しいものである。

街の中には所々土産物を売る店もあり、吹屋で見られぬ産物もあり、店を覗きながらの散策は楽しく結構時間を忘れさせてくれる。

街並みの中程から通りを外れ、山側に少し登って小さな堀切を抜けると、盆地の様な場所に出る。まさに忽然と言う感じで前方の森中に古い洋館が現れた。大正ロマンと言つのか実に懐かしく郷愁をかき立てられる眺めである。今も小学校として使われているところで、生徒数は十数人とのことであった。

次に訪ねたのが山あいの道を四キロメートルほど走った所に或る広兼邸である。当時の庄屋で広兼元治（二代目）が享和、文化の頃銅山とベンガラの原料製造を営み巨万の富を築き、その財力で文化七年（一八一〇年）に建築した邸で、急峻な山腹にそそり立つ城郭を思わせる雄大な構えで、下からの眺めは抜群である。

石組みの急な坂を登り、門番部屋・不寝番部屋が付いた楼門をくぐる、山の斜面にあるせいか建物の大きさから見ると思ったより庭が狭い感じがする。

本宅は約百坪、離れ座敷・長屋・土蔵が合わせて百坪以上もある。

面白いのは、厩の配置が屋敷の左側に在る長屋の中と、右奥の二ヶ所にあつて奥の方は

当主の乗馬用だそうです。その他種こんにゃく保存室などもあつて、当時の大庄屋の暮らし振りなどに思いを巡らせ、興味が尽きない楽しい小旅行でこれからも何度も訪ねてみたいと思ひながら帰途に就いた。



講習会に参加して

訪問介護員養成研修「2級課程」に参加して



南部町

景山 萬寿美

(米子会場)

6月26日から、8月6日まで行われた訪問

介護員養成研修「2級課程」を受講しようと思っ
たのは、私自身も還暦を
迎え、高齢者に前進中、
これから、どう「自分ら
しく生きていけるのか」
「何かできるか」と、自
分に問いかけて応募しま
した。

初日は、受講者全員が
緊張と不安の中で座学が
始まりましたが、同年代
ということもあり、毎日
に笑顔が見え、笑い声も
聞こえるようになってき
ました。専門用語・専門
技術が耳から、目から入
ると、又「不安」の顔。



でも、その度にみんなで励まし合いました。
訪問介護員の仕事は、身体上・精神上的の障
害があり、日常生活を一人ではできない人の
「身体介護」「生活援助」「相談・助言」です。
私がおもっていた(お世話をする)ではあ
りませんでした。

食事・排泄・入浴等の介助・掃除・洗濯・
買い物・調理等の日常生活を常に利用者の立
場に立って、「コミュニケーションをとりなが
ら、必要に応じた支援をする。その人の(生
活・身体・心)をよく理解して、その人が
「何をやりたいか」「自分で何ができるか」、
自立の可能性を見つけ、
希望と目標を共に達成で
きるようにする「自立支
援」が基本でした。

大切な生命、生活に携
わる仕事であり、専門的
な知識と技術が必要であ
ることを学び、実感しま
した。

介護実習、訪問介護同
行実習、在宅サービス提
供見学もさせていただき、
134時間の全課程を終了し
て、8月6日に受講者全
員、修了証書をいただく
ことができました。

研修に関わっていただ
いた方、熱意ある講師の



方々に心よりお礼申し上げます。ありがとうご
ざいました。

研修を終えてみて、健康であることに感謝
でした。これからも、家族の健康管理に気を
つけながら、自分にできることから一つでも
喜びを感じながら願っています。

事務補助講習を受けて

(倉吉会場)



倉吉市

穴戸千衣

団塊の世代真っ只中、人生の3分の2が終わろうとしている今、この世に生まれて何人の人と知り合い、どれだけの知らないことを残して人生終わるのだろうか・・・事情はともあれ、もったいないことをしたと後悔仕切りでした。

ある日、息子がパソコンのお下がりを家にセットしてくれましたが、気後れし、何か月もそのまま状態。

しかし、シルバー人材センターに入会したおかげで、パソコンに触れる機会を与えていただき(まだまだ扉を叩いたところですが)、世界が広がった今日この頃です。

やさしい先生が、同じ事を何回も聞く出来の悪い私に、イヤな顔一つされず、丁寧に解りやすく教えてくださいました。

生徒の方たちとも楽しく勉強し、人の輪と、知らない知識を得るチャンスももらい、感謝感謝の毎日です。

お世話になったスタッフの皆様方、本当に有り難うございました。

ただいま受講中!



造園アシスタント講習を受けて

(鳥取会場)



鳥取市

岸野博

しらはま交流センターにおいて、6月25日から7月4日の8日間講習を受けました。

先生は、渡辺造園樹木医の伊藤亨さんでした。

シルバーに入会して初めての講習が剪定を中心とした庭木の手入れでした。机に向かって講義を受けること、長い間ご無沙汰してい

たので、開講式は子どもに戻ったようで、わくわく。又、反面、緊張して一日が終わりました。

内容も初めて聞く事ばかりでしたが、受講者の中には詳しい人もおられ、びっくりしました。

ビデオ鑑賞、実技と忙しい毎日、天気にも恵まれて暑い日々でしたが、無事修了証をいただくことができました。

ここで講習を受けさせていただいたことが縁で声を掛けていただき、剪定の仕事をさせていただきます。

毎日が勉強の日々ですが、シルバー会員の仲間にならしていただき、人生の奥深さを感じながら一歩一歩、歩いていこうと思っています。

先輩方に迷惑をかけるないように努力して、早く戦力として一人前になりたいと思います。

シルバー会員の皆様よろしくお願ひします。



平成20年7月1日から最低賃金法が変わりました

最低賃金の決定基準や罰金の上限額、派遣労働者への適用関係などについて大きな改正が行われました。

〔改正の概要〕

1 地域別最低賃金はこうなります

- ① 地域別最低賃金を決定する場合には、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう、生活保護に係る施策との整合性にも配慮することとなります。
- ② 地域別最低賃金を下回る賃金を支払った場合の罰金の上限額が2万円から50万円に引き上げられました。

2 産業別最低賃金はこうなります

産業別最低賃金額を下回る賃金を支払った場合については、最低賃金法の罰則は適用されなくなり、労働基準法第24条の賃金の全額払違反の罰則が適用されます。ただし、産業別最低賃金が適用される労働者に地域別最低賃金額を下回る賃金を支払った場合は、最低賃金法違反となります。

3 適用除外規定が見直されました

すべての労働者の最低賃金を適用するため、障害により著しく労働能力の低い者、試みの試用期間中の者、認定職業訓練を受けている者等に関する適用除外許可規定が廃止され、最低賃金の減額特例許可規定が新設されました。

4 派遣労働者の適用最低賃金が変わりました

派遣労働者には、派遣先の地域（産業）に適用される最低賃金が適用されることとなりました。

5 最低賃金額の表示が時間額のみになります

時間額、日額、週額又は月額で定めることとされていた最低賃金の表示単位が、時間額のみとなります。

6 施行期日

施行期日は平成20年7月1日です。

7 最低賃金額の適用について

改正法の施行の際に有効である最低賃金については、次の改訂までの間は改正法に基づいて決定された最低賃金とみなされることから、改正法の施行の際に直ちに改訂は行われません。

………… シルバー会員の配分金について ……………

シルバー人材センターが受注する仕事の対価については、当該地域における類似の仕事の対価に比べて著しく低くならないように留意し、仕事の見積もり基準等は、地域の最低賃金や業界の一般的な基準を参考にすることが必要です。なお、シルバー派遣就業については、最低賃金法が適用となりますので、鳥取県の最低賃金額に留意しましょう。

「ねんきん特別便」 年金記録の確認にご協力ください。

年金受給者の皆様へ

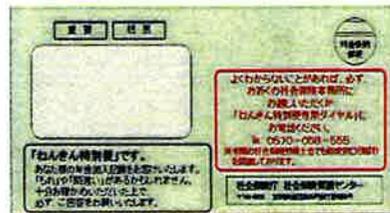
- 緑色の封筒でお届けしています。
本年4月から5月までの間に、すべての年金受給者の方へ「ねんきん特別便」をお届けしています。
- 年金記録のご確認をお願いいたします。
・年金記録に「もれ」や「間違い」がないか十分にご確認をお願いします。
・「もれ」や「間違い」がある場合も、ない場合も、必ずご回答くださいますようお願いいたします。
※ 年金記録が変われば、正しい年金額をお受け取りいただけることとなり、年金額が増える可能性が高いので十分にご確認ください。

※ 3月までに青色の封筒で「ねんきん特別便」が届いた方は、年金記録にもれがある可能性が高い方です。
 ・まだ回答をいただけていない方がいらっしゃいますので、ご注意願います。
 ・まず、「ねんきん特別便専用ダイヤル」にお電話ください。
 ・結びつく可能性のある記録についての具体的な情報を提供します。

【年金支給額が増えた例 (A男さん75歳の場合)】

13か月分のお勤め期間の記録もれが見つかり、これからの年金支給額が年額で約5万円増え、過去に受給できた年金として約53万円をまとめて受け取れました。

- 平成8年以前に旧姓で年金に加入していた方はご注意願います。
結婚等により氏名を変更されている方の記録が、いわゆる持ち主不明であった「5000万件」の記録の中に多数存在することが見込まれています。これらの年金記録は、皆様にお申出いただくことにより、速やかに記録に結びつけることができますので、ご協力をお願いします。
※ 「ねんきん特別便」の回答は、代理人の方が行うこともできます。
※ 年金の来訪相談も、本人の委任状があれば家族や友人の方でもできます。



6月から10月の緑色の封筒



3月までの青色の封筒

※ご家族の方などに「ねんきん特別便」が届いたら、過去の職歴について一緒に記憶をたどってみるなど、多くの方からご回答いただけるよう、ご協力をお願いします。(ご家族でも、お一人お一人に届く時期は異なります。)

ご質問・お問い合わせは

○「ねんきん特別便専用ダイヤル」

月～金曜日：午前9時～午後8時
第2土曜日：午前9時～午後5時

※上記以外の受付日時については、
社会保険庁HP(<http://www.sia.go.jp/>)
でご案内しております。



0570-058-555

※IP電話・PHSからは「03-6700-1144」にお電話ください。
※一般の年金相談は、「ねんきんダイヤル」0570-05-1165まで。

○お近くの社会保険事務所・年金相談センター

※ 都道府県社会保険労務士会でも無料相談を行っています。
※ 詳しくは、HP (<http://www.sia.go.jp/>) まで。

表紙のこぼれ

「米子の郷土色豊かな祭りを作ろう」との思いで企画されたのが、米子がいな祭りです。

米子がいな祭りは、二日間開催され、見どころは、『がいな万灯』と『大花火大会』の二大イベントです。

初日の『がいな万灯』は、駅前の大通りがこの夜だけは歩行者天国となり、夜空を明るく灯す巨大な万灯の列が大行進します。

二日目は、水中花火を含む八千発の大花火大会が行われ、艶やかな大輪の花が描かれます。是非、米子へ足を運びがいな派手な祭りを楽しんで下さい。

米子がいな祭りの概要

「がいな」とは大きいという意味。市民有志により一九七四年に企画開催され、米子駅前通り、湊山公園にかけて、がいな万灯やパレード、大花火大会、ステージショーなどがおこなわれ二日間で約十八万人の人出で賑わいます。



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

(平成20年8月1日現在)

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051	木島敏行
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	宇野治巳
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101	野島 完
(社)境港市シルバー人材センター	684-0034	境港市昭和町11-17	0859-47-4540	0859-47-4541	西村岩市
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	田子 貢
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	小林 實夫
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2512	谷口幹彦
(社)湯梨浜町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡湯梨浜町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	足立 春人
(社)琴浦町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡琴浦町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1004	足立 慎夫
(社)北栄町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227	岸田 忠良
(社)大山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0858-53-1310	林原 彦一
八頭町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	衣笠 春寿
江府町シルバー人材センター	689-4413	日野郡江府町洲河崎62	0859-75-3211	0859-75-3211	宇田川 潔
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0870	0859-74-0338	瀬田 寿幸
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-0223	大下 勇
三朝町シルバー人材センター	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883	西村武津美

あどがき

今回も、関係各位の御協力のおかげをもちまして第十九号が発行できましたことを厚くお礼申し上げます。

今年度におきましては、後期高齢者医療制度、年金問題、原油高騰による物価高、派遣と請負など私達にとりましても、身近で様々な問題がおきておりますが、元気な高齢者であるためには、何をしたらいいのか、いろいろと考えていきたいものです。

シルバーセンターは、高齢者の働き方につまきまして、《年金の受給が遅くなるにつれて、ある程度の収入を目的とする人》《皆と一緒に楽しく働きたい人》《ボランティア活動などの社会奉仕に参加したい人》など様々なニーズにこたえるために、機能を充実して地域のために、貢献しております。

連合会、センターは、一体となって生き生きとした高齢社会を実現するため、その果たすべき役割は一層重要となつて来ております。そのためには、関係皆様方のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

会報 鳥 取 第19号 平成20年8月20日 発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地：〒683-0812
鳥取県米子市角盤町1丁目76番地

電話：0859-37-2531

FAX：0859-37-2537

印刷：(有)ニシキ印刷
鳥取県米子市灘町3-150

電話：0859-32-2250